

# 宇宙天気予報の 今後のアウトリーチ方策について

一般社団法人 ABLab 宇宙天気プロジェクトマネージャ  
宇宙天気ユーザー協議会 アウトリーチ分科会長

齊田季実治

---

2022年4月26日(火) 13:00～15:00

## 地球上の全ての業界を、宇宙産業に巻き込む

近い将来、様々な企業が宇宙事業への参入を検討する時代が来ます。

その時、

多くの企業で宇宙に詳しい人材が求められることでしょう。

ABLabはありとあらゆる業界に、宇宙事業をリードする人材を輩出します。

そして私たちが、世界の宇宙産業をリードしていくのです。

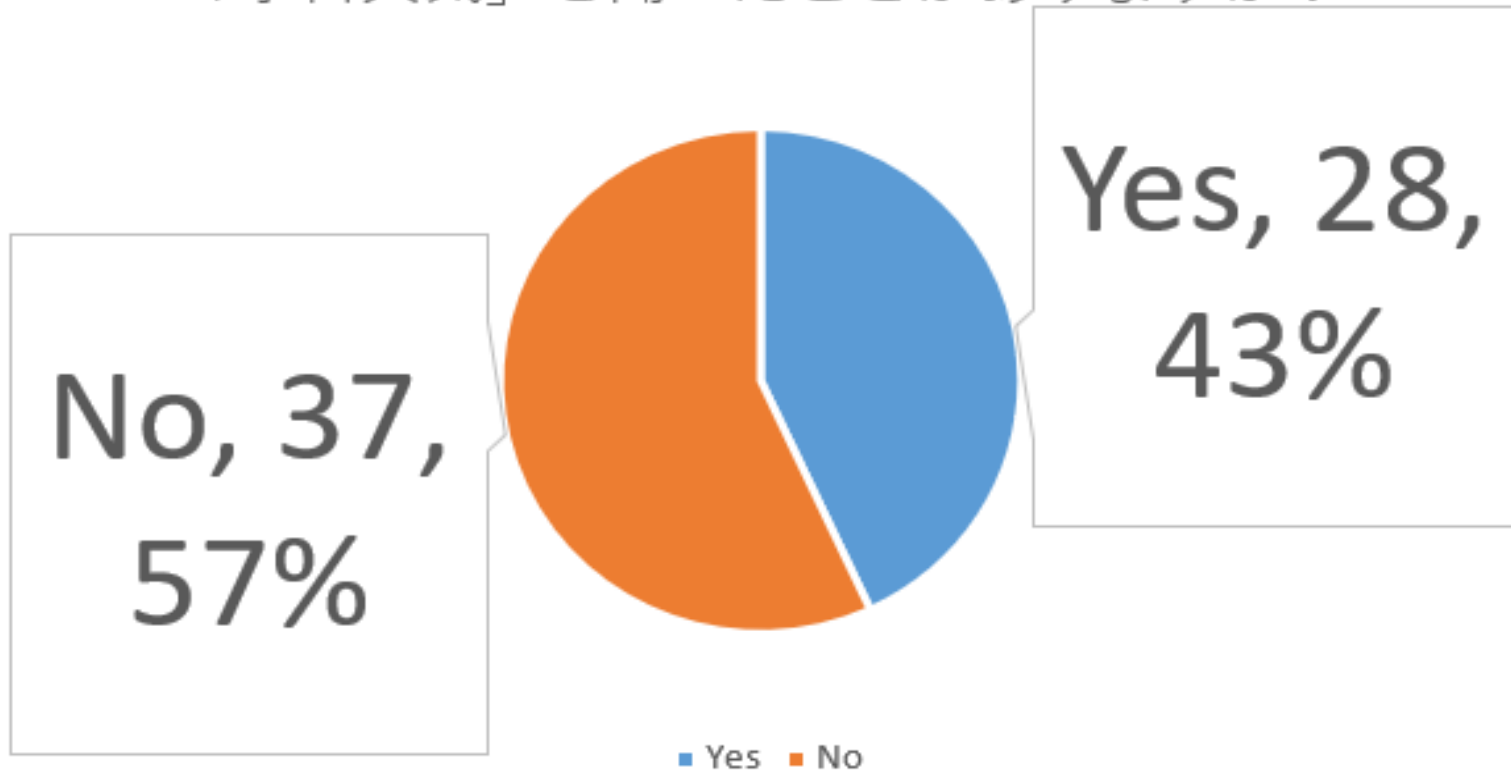
ABLabは、未来の宇宙産業で活躍する人材が育つ場所です。

仲間を作り、共に学び、協力し合い、挑戦し、遊び、成長していく場です。

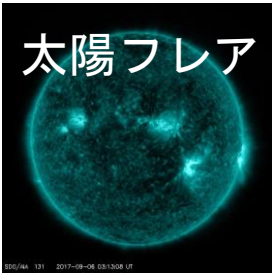
# 宇宙天気を聞いたことがありますか？

ABLab内アンケート（2019年12月 回答 65人）

「宇宙天気」を聞いたことがありますか？



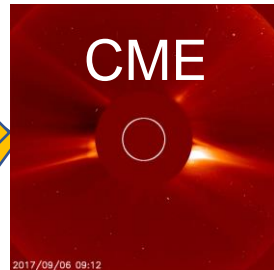
# 宇宙天気の影響



太陽フレア



宇宙インフラ  
衛星への影響



CME

放射線・電磁波

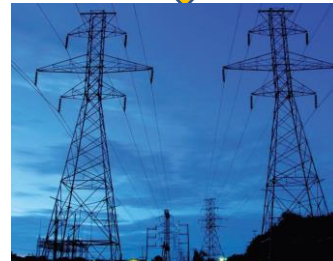


通信インフラ  
通信への影響



磁気嵐・オーロラ嵐

地磁気誘導電流 (GIC)



電力インフラ  
電力網への影響

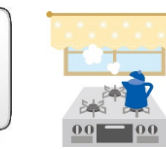
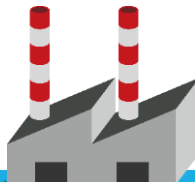
宇宙天気



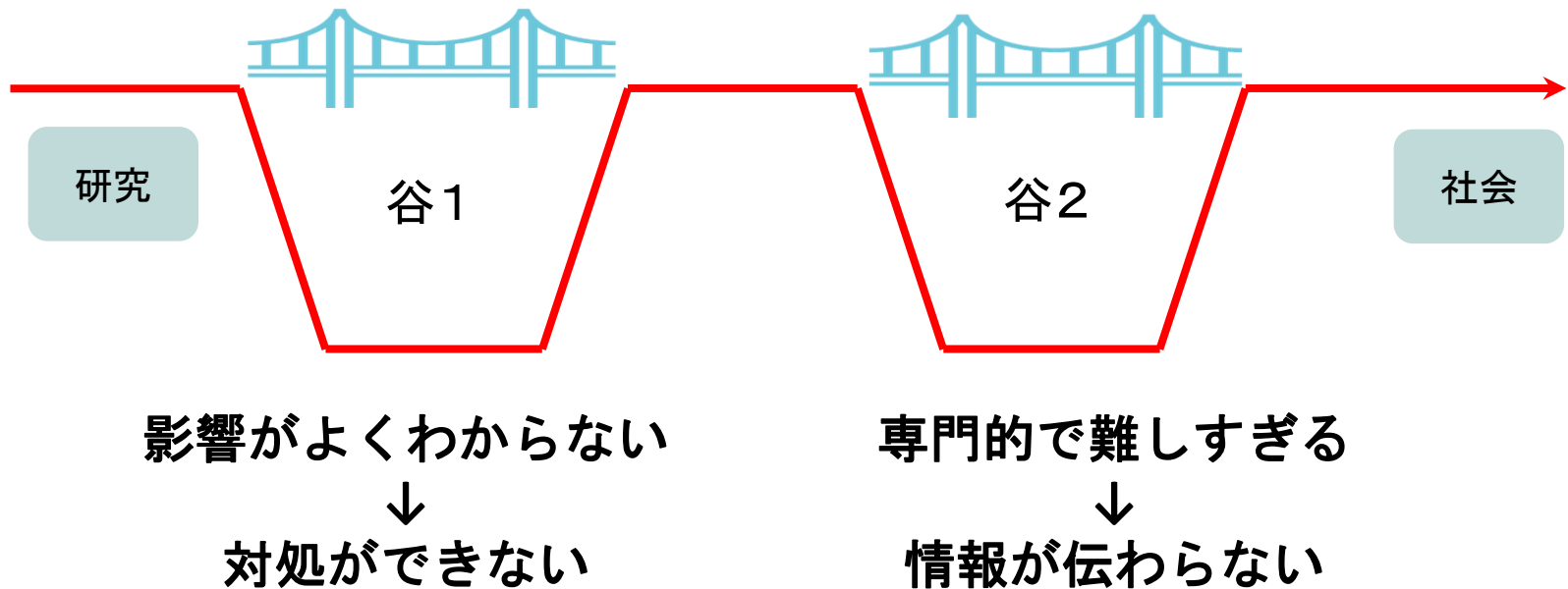
社会インフラへの影響



生活への影響



# 宇宙天気の“死の谷”問題



# 宇宙天気の“死の谷”問題

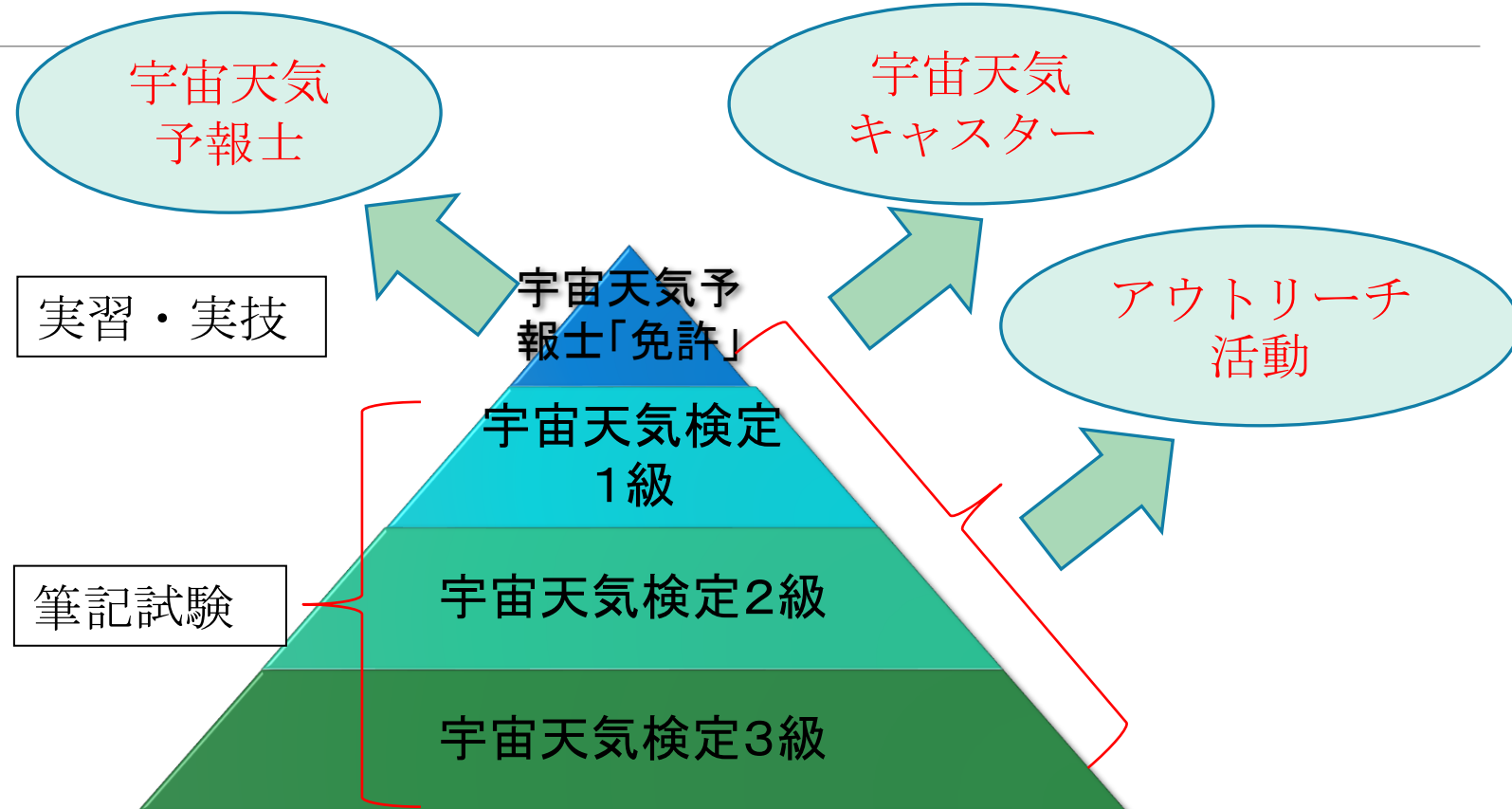
---

現象を  
深く理解する  
「研究者」

現象の  
影響を受ける  
現場を知る  
「事業者」

現象を  
わかりやすく  
伝える  
「気象キャスター」

# 「宇宙天気予報士制度」「宇宙天気検定」の 創設に関する提言



運営主体は、新たに設立する一般社団法人等を想定。  
学会等との連携協力によって、問題作成に寄与して頂くこと、  
実習・実技についてはNICT予報室の使用を検討。

# 気象予報士試験の目的

---

具体的には、気象予報士として、以下を認定することを目的とします。

1. 今後の技術革新に対処しうるように必要な**気象学の基礎的知識**
2. 各種データを適切に処理し、**科学的な予測**を行う知識および能力
3. 予測情報を提供するに不可欠な**防災上の配慮**を適確に行うための知識および能力

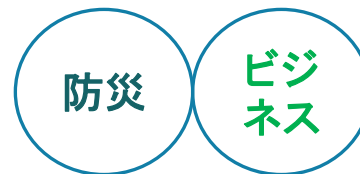
サイエンスコミュニケーターとしての役割





# 気象予報士の制度・活動から学ぶ

- ・サイエンスコミュニケーターとしての役割
- ・防災活動と教育の組み合わせ (宇宙天気現象は約11年周期)  
NPO法人気象キャスターネットワーク・気象防災アドバイザー
- ・マスメディアとの連携 (気象情報の拡張、予報精度の理解)
- ・観光業との連携 (オーロラ、宇宙旅行)



教育

「宇宙天気予報士制度」「宇宙天気検定」の創設